



# 複写 NEWS

No.269 平成 28 年 11 月 1 日発行

## Table of contents

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| 第 27 回有馬全国大会～ARIMA Summit 2016～開催      | 3  |
| 新たなる地平に挑戦する                            | 4  |
| 功労者表彰                                  | 7  |
| 明るい分科会                                 | 8  |
| 大会開催お礼 日本ドキュメントサービス協同組合連合会             | 10 |
| 読者参加フォトページ 有馬全国大会 関 雅夫                 | 11 |
| 有馬全国大会大懇親会                             | 15 |
| D S 連 近畿複写産業協同組合記念ゴルフコンペ開催             | 16 |
| 有馬全国大会開催 ご報告と御礼                        | 19 |
| Value Presentation 2016 開催 リコージャパン株式会社 | 20 |
| MAGIC! WAVE 開催 富士ゼロックス株式会社             | 21 |
| キヤノンカレッジ in 大阪開催キヤノンマーケティングジャパン株式会社    | 21 |
| ほっと一息 “さつまいもプリン”                       | 22 |
| 賛助会員様へのご案内                             | 23 |
| 編集後記                                   | 23 |





## 日本ドキュメントサービス協同組合連合会

### 第 27 回有馬全国大会～ARIMA Summit 2016～ 開催



平成 28 年 10 月 28 日

兵庫県神戸市北区にある、有馬グランドホテルにて、第 27 回有馬全国大会を開催いたしました。

受付の始まる頃は何とか雨音が聞こえることなく、お越しいただきました。

総勢 156 名のお申込者全員のご参加を賜り、誠に盛大な会となりました。

13 時 30 分司会佐々木洋之氏により、大会は日笠宏昭実行委員長開会宣言により高らかに始まりました。



1. 開式の辞 有馬全国大会 実行委員長 日笠宏昭

2. 会長挨拶 日本ドキュメントサービス協同組合連合会会長 森下修至

今後この業界をどうしていこうか真剣に考えている方々が 160 名お集まりくださいました。6 月ドメイン変更の転換期を迎え名称・参加資格の変更を行いました。同業の皆様と新しい時代を創造しようとするきっかけにしたいと思っています。ポストジアゾ、POD業務の

拡大等、次世代にどのように引き継いでいこうか一緒に活路を見つけましょう。賛助会員の皆様には機器の提供、情報の提供、教育に関して色々ご支援賜り誠に有難うございます。新しい市場の創造、新規顧客の創生、そして、未来への業務の引継ぎに今後ともご協力頂ければと思います。ご支援宜しくお願い致します。

3. 歓迎の言葉 近畿複写産業協同組合 理事長 河村武敏

変革の瞬間であるこの時代、歴史的な記念撮影を行います。全ての行事に



全力で参加して下さい。飽きさせません。歴史的な革命の一瞬をみなさんで体感してください。

#### 4. 来賓祝辞

全国中小企業団体中央会 矢田部宏志様

本日は、名称変更に伴い新たな市場を開拓し新たな価値を創造していくにふさわしい門出、一丸となって、力を結集してドキュメントサービスという業種を確立して頂ければと思います。

大阪府中小企業団体中央会 川口輝彦様



#### 5. 祝電披露

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 取締役 常務執行役員 足立正規様

コニカミノルタジャパン株式会社 代表取締役社長 原口淳様

日本イメージ情報連合会 会長 井上信男様

富士ゼロックス株式会社 執行役員プロダクションサービス営業本部長 麻生修司様

富士ゼロックス大阪株式会社 代表取締役社長 望月俊之様

富士ゼロックス西日本株式会社 代表取締役社長 古川利正様

株式会社モトヤ 代表取締役社長 古門慶造様

リコージャパン株式会社 代表取締役社長執行役員 松石秀隆様

#### 6. 事業報告 日本ドキュメントサービス協同組合連合会副会長 楠本雅一

### 新たなる地平に挑戦する

私たちは  
いまに適応し  
あすに生きるため  
ドキュメントサービス業へと変革する



#### 有馬から

本日は有馬温泉という地で全国大会を開催させていただきました。

遠路お越しいただき洵に有難うございます。

業界の歴史を紐解くと、有馬の地は業界に何か起こる時に選ばれる場所です。業界の新しい風は有馬から吹いてきました。

#### 名称変更

すでに皆様にお知らせしている通り、全国組織の名称を「日本複写産業協同組合連合会」から「日本ドキュメントサービス協同組合連合会」へと変更しました。名称変更は私たちの事業領域、すなわちドメインの定義の変更を意味するものです。私たちの主たる活動の場を、複写という事業領域からドキュメントサービスという事業領域へと変更します。

デジタル化が進展し、単純複写が減少するなか、長きにわたってその必要性を感じていましたが、本年3月31日に私たちを育ててくれた「ジアゾ」が完全に終息したタイミングをとらえて本年6月27日の複写連総会にて名称変更を決議しました。

あわせて総会日程の関係で複写連に先立って、九州の統合新組合は九州ドキュメントサービス協同組合へ、東京のIMN協同組合は東京ドキュメントサービス協同組合へと名称変更し再スタートをされました。

## 経産省の指導

私たちは並行して監督官庁である経産省と、業界ドメインの議論を交わしながら定款変更の協議を重ねました。その過程で私たちが気付かない部分の御指導もいただきました。なかでも定款の「会員資格」では経産省・中央会から「複写」という言葉を残すように指導をいただきました。新しいことをしている方だけの組織でなく、いまでも頑張っている方々とともに変革するためです。新しいことに眼がとられがちになりますが、その業界の根本の指導に感謝する次第です。

そして、8月9日に経産省から新名称の正式認可をいただき、本日の有馬大会を迎えました。

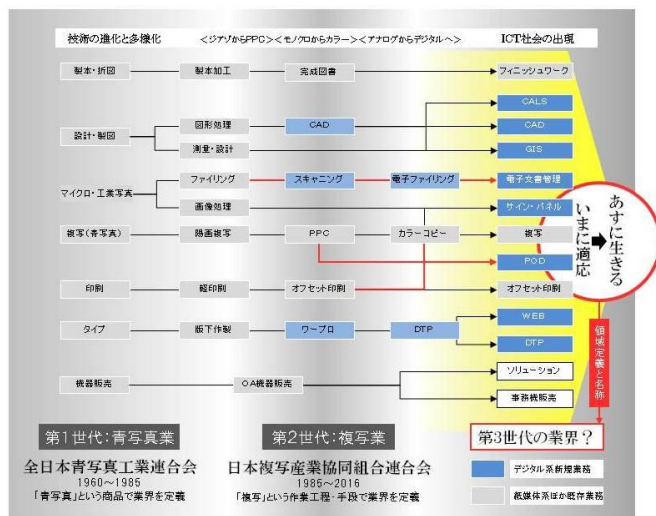
## 複写の魂

そういう意味で「有馬大会」は「複写業」という言葉に決別の覚悟を示す「有意なる大会」であるといえます。諸先輩方によって形づくられた青写真業も、複写業へと拡大進化しました。そしていま、さらに第三世代に進化しなければ、業界として生きながらえていくことはできません。

しかし「複写業」という言葉を一旦は棄てたとしても、その本質である「複写の魂」を棄てるということでは決してありません。「複写の魂」のなかに、この時代を生き抜く知恵があります。「複写」という言葉は、私たちの故郷（ふるさと）として、業界の魂として、大事に心の奥底にしまいつつも、さらに磨きをかけていくべきものであると考えています。

## 私たちは進化してきた

さていま、業界の大方の人達は複写事業の衰退を否定しないでしょう。しかし、私たちは手をこまねいてきたわけではありません。青写真業から複写業へ、主軸事業の発展拡大の過程でお客様の多様な要望に応じて新たな事業を付加し、新業態を追加し、業容の拡大を図って今日があります。実に柔軟な業界文化を持っているのが複写業界だといえます。そしてICT時代を迎えて、デジタルデータの上流と下流に向けてドキュメント関連事業を伸ばしてきました。



私たちは進化してきたと断言できます。しかし受動的に進化してきた自然物のような存在であったとも言えます。もちろんそのような幸運の進化のプロセスを否定するものでなく、時代背景に恵まれた業界であったということは間違いのないでしょう。

そんな時代は過ぎました。厳しい時代を前にして、改めて自らの力で進化させる事業領域を定義する必要があります。

## ドキュメントサービス業

ドキュメントサービス業とは何でしょうか。

その定義を試みますが、その定義の具体的事業への「適応」は各社の課題です。

「適応」とは、『その状況によくかなうこと』『また、生物の形態や機能などが、その生活環境に適合していること』と説明されています。各社固有のコアコンピタンスといわれる「強み」を生かした「適応の具体策」「事業戦略と戦術、そして展開」の幅を狭めないため定義は緩やかにしたいと思います。

## ドキュメントの構造と価値

ドキュメントを少し考えたいと思います。

ドキュメントは「コンテンツ」と「メディア」を有する構造です。建物の設計図面では、建築情報がコンテンツであり、青写真であればそれがメディアです。すなわち両者が一体となってその価値を伝え、その効用を及ぼすことができます。

ドキュメントという言葉の語源はラテン語の“docare（ドケーレ）”といわれています。“docare”とは「教



えること」という意味だそうです。本来的にドキュメントという言葉は、人に何らかの情報を伝え何かを教えるという意味がありました。情報を持ち、その情報を伝えるという点においてドキュメントそのものに価値があります。そしてその情報によって人が動く、あるいは動かされることによってさらに大きな価値を生じます。コミュニケーションの道具として、ドキュメントは新たな価値を誕生させる端緒となり、社会の発展に寄与してきたと言えます。その点において、ドキュメントの真の価値が存在します。

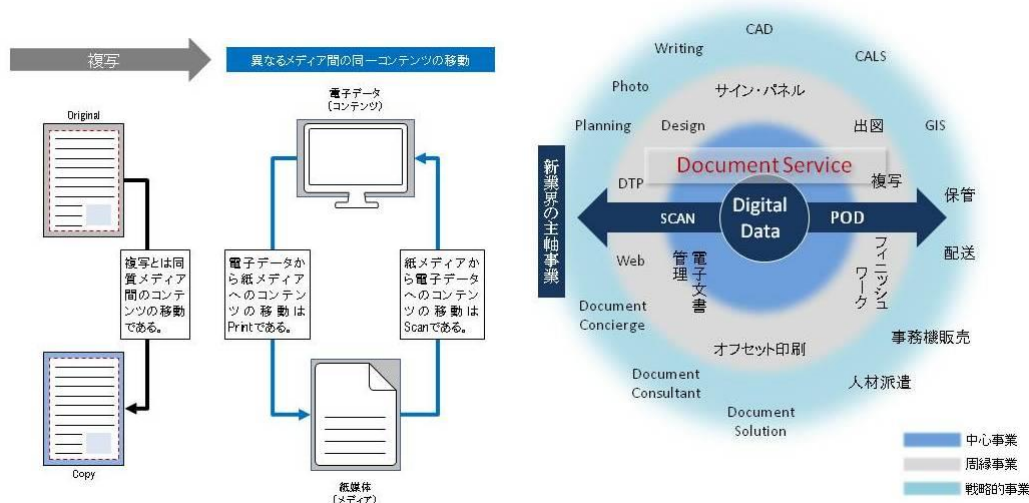
私たちの業界から発した「青写真を描く」という言葉は、大きな夢を実現する新たな価値創造の第一歩を絶妙に表現しているといえます。

ただメディアが多様なこの時代においては、ドキュメントは様々な形態・表情をしています。そこで私たちの業界がドキュメントを考える時、まずは紙を中心において、そこからスタートしたいと思います。

もちろん各社の選択により、紙から離れて革新的メディア事業は当然のことです。

私たちは、コミュニケーションの道具である紙メディアを中心とするドキュメントを基本にした概念で定義したいと考えます。

すなわち、ドキュメント作成のプロセスで必要とされる物的・人的の両面に亘る業務の提供、デジタルデータの入出力を中心事業とし、ドキュメントの企画・制作の上流から、流通・保管までの下流を含めたワンストップ・トータルサービスの提供を行う業界と定義します。より詳しくは本年の総会資料をご覧くださいたくお願いします。



## 顧客の創造

しかしながら、ドメインは成長領域の概念的な定義でしかありません。その領域の解釈と、その領域において自社を成長させるのは経営者です。各社ごとの適応、成長戦略が重要となります。

また、新ドメインは過去の業界の在り様を否定するものではありません。私たちが営々と築いてきた業界文化、すなわち「複製の魂」である「オンデマンド」「ワンツウワン」「バリエブル」など、それらは個人を特定する ICT が進化するいまこそ真に求められる精神です。「一枚のコピー」を原点にする「複製の魂」がこの新しい時代に必要不可欠な要素であり、複製業界文化の本質はドキュメントサービス業に営々と宿り続けます。

そして何よりも大切なことは、新ドメイン再定義の真の目的は「新たな顧客を創造する」ことにあるということです。すなわち、より大きな成長領域で私たちの事業を展開するということです。

同一商品を同一市場に向けて営業活動を展開する限り価格競争しかありません。当然、行き過ぎた競争は仲間が集まる場の弱体・解体へとつながります。

また、新たな事業領域においては、新たな顧客を創造するために新たな商品、新たなサービスが必要です。それらを共に考え、互いに助け合って、仲間同士を高め合うことが求められます。

そのために仲間が集まる場が必要であり、組合という場はそのために存在します。新しいドメインのもと、いまこそ組合という場の価値が試されます。

## 複写との決別、新たな地平への挑戦

永いあいだ同じことをしていれば淀みが生じます。ある環境で成長した事業も、環境が変化すれば衰退します。常に環境への適応をしつづけなければなりません。

できなければ、地域や全国に矛盾や軋轢が生じ、長年築かれてきた紐帯は緩み、ついには解けてしまうこともあります。成長性を失った複写業と決別し、今後成長が期待される領域へ、新たな地平に挑戦する時です。

地域の組合、全国の組織、複写業時代の組織は混迷の真ただ中ではありますが、混沌としたカオスから新たな生命が生まれることを信じています。ドキュメントサービス業として皆様方と共にさらに成長をすることを祈念して、有馬全国大会のご報告とさせていただきます。

## 7. 功労者表彰

複写産業発展功労賞 當野茂雄様（代理受領正樹様）



業界功労賞（写真順）

関雅夫様 藤田知子様 日笠宏昭様 巽充雄様 仲摩朋子様



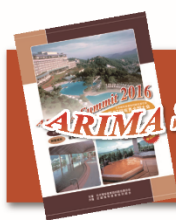
## 8. 被表彰者代表謝辞 九州ドキュメントサービス協同組合 理事 仲摩朋子



本日はこのような盛大な表彰式を行っていただき、その上、表彰状、記念品を賜り、身に余る光栄でございます。厚く御礼申し上げます。

日ごろ私どもは業界の発展を目指して微力を尽くして参りましたが、その努力を認めていただき、図らずもこのように晴れがましい栄を得ましたことはひとえに諸先輩方のご指導励ましの賜物と心から感謝申し上げます。今後も日本ドキュメントサービス協同組合連合会の発展の為、引き続きご協力をさせて頂きたいと思っております。今後一層のご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

## 9. 閉式の辞 日本ドキュメントサービス協同組合連合会副会長 小川裕士



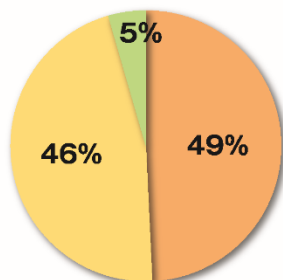
ARIMA Summit 2016  
複写遠近戦大会

明るい分科会

# アンケート結果

たくさんのご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

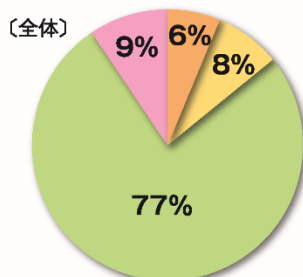
## 1. 所属



|             |     |
|-------------|-----|
| 組合員         | 33名 |
| 賛助会員        | 31名 |
| パートナーズ・同業社様 | 3名  |

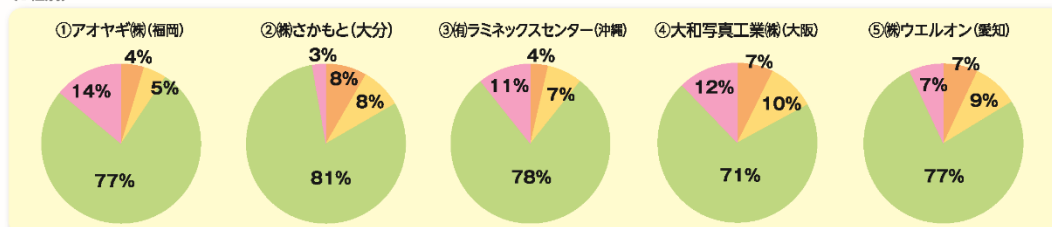
合計67名

## 2. この分科会を選ばれた理由

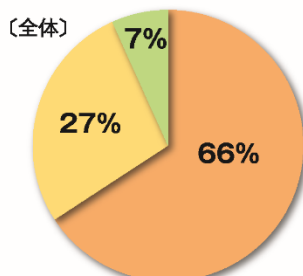


|                       |      |
|-----------------------|------|
| 現在、自社も取り組んで(導入して)いるので | 12件  |
| 今後取り組む(導入する)予定        | 15件  |
| 将来の方向性を探る情報収集         | 146件 |
| その他                   | 18件  |

(5社別)

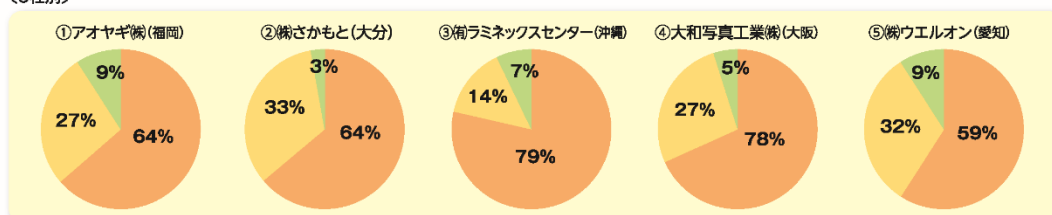


## 3. ブースについて



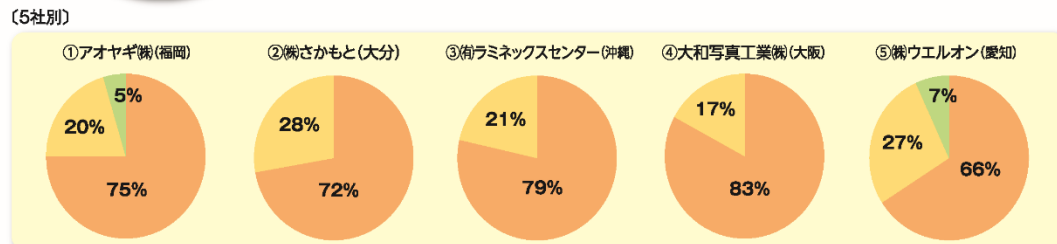
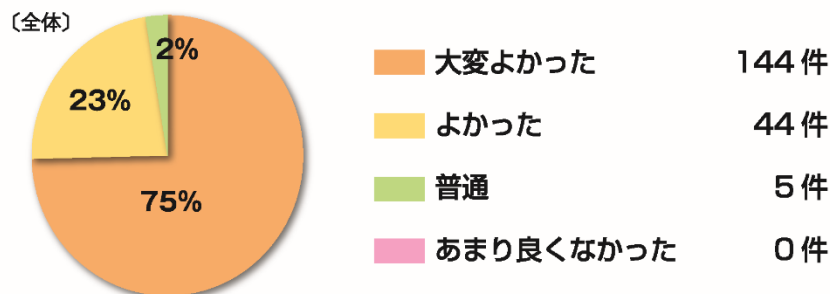
|           |      |
|-----------|------|
| 大変よかった    | 127件 |
| よかった      | 53件  |
| 普通        | 13件  |
| あまり良くなかった | 0件   |

(5社別)





#### 4. 講演内容はいかがでしたか？



#### 5. その他ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

##### ① 小規模事業者持続化補助金を活用した提案型営業実践事例 アオヤギ(株) (福岡)

**賛助会員** ● お客様のお客を開拓するとの発想が弊社と同じである。● 新たな事業の取組みによって、社員の成長と業績UPに繋げている。● すばらしい説明に感動した。● B to B to BC拡大の考え方がとてもよかった。● 顧客との関係作りや社員育成という成果は素晴らしいと思った。● 仕事に対する姿勢が素晴らしい。● 非常に勉強になった。● 顧客に対する価値提供がビジネスに発展する面白い企画だった。● 顧客満足を目指す素晴らしい取組みである。● 営業上でコツがあればまた教えていただきたい。● お客様との関係構築のやり方や、価格競争にならない方法。大変参考になった。● ものからことへの変革が非常に伝わってきた。● 発表の方が楽しく仕事をしている姿が伝わってきた。● 組合員 ● 社員が成長を感じられるのが素晴らしい。● 社員教育を考えた上で非常に参考になった。自信を持って発表されている社員の姿が非常に印象的。● パートナース・同業社様 ● 中小企業にとって申請書づくりはかなりのハードルで、その部分をサポートしてあげる姿勢が素晴らしい。

##### ② 大判カラーのPOD市場への挑戦と会員共用プリントアシストルーム「Par」の展開 (株)さかもと (大分)

**賛助会員** ● Parのコンセプトと実現までのプロセスが素晴らしい。もっとも興味深かった。● 色々ノウハウまでご教示いただき、ありがとうございました。● 販売にとって参考になっている。ありがとうございます。● 組合員 ● 自社検証は非常に良いと思う。● ジアノに変わる機種選択に非常に参考になった。● メリットデメリットも包み隠さず発信しており、誠意と理性を感じた。● 現状の価格を下げるにより、仕事量が増えてもマイナスになるのではないかと心配ではある。● 外注体制を考える上で一つのきっかけとなった。Win-Win-Win良い響きですね！● 機器の進化と社長の研究熱心に驚いた。● パートナース・同業社様 ● 複写業と印刷業の目線の差をうまく捉えている。● メーカーの説明と違った事例が聞け、参考になった。

##### ③ 思い出を形に…。メモリアルグッズ販売で売上増！ (有)ラミネックスセンター (沖縄)

**賛助会員** ● 会長のお話は大変前向きなものだった。● 独自性のある取組みで他の用途を含め、展開の可能性があると思う。● ショールームにサンプル展示等考えたい。● 地域の習慣文化に根差した企画、参考になった。肉球の質感が変えられると面白いと思った。● 組合員 ● 事業内容といささかかけ離れていたが、広い視野を持つことの大切さを学んだ。● 沖縄独自の文化からお仕事が始まったなど、非常に参考になった。● 新しい発見ができた。

##### ④ ニュースレターって意外と使えませ！ 大和写真工業(株) (大阪)

**賛助会員** ● 社内報を切口に顧客関係を構築され、ビジネスに繋がっている営業スタイルはすばらしく共感した。● プレゼンテーションが大変わかりやすく、ポリシーを持って継続されていることがよくわかった。● 継続する事の重要性を再認識した。非常にわかりやすい説明で理解できた。● D-WAVEの効果、大変参考になった。● 継続は力なり。素晴らしい取組みである。● とても興味のある内容であり、自社でも色々取り組みなければと考えさせられました。● 自社の研究会の案内にも使いたいと思った。この仕組みをお客様にコンサルするサービスも面白いと思った。● 顧客ニーズにあったコンテンツを作り続けることが課題です。● ニュースレターがES・CS・顧客コミュニケーション、業績に反映する仕組みになっており素晴らしい。社長の人柄、会社の企業風土が垣間見れて安心して発注できるのだと思う。● 紙媒体での提供が効果的だということが、News Mail等では厳しい時代にとっても参考になった。営業ツールとして何が活用できないか考えた。● 組合員 ● デザイン力を付けることが難しそう？● 社長のあいさつ、考え方を明記という所がミソ！● 1か月に1号、継続されているのは立派な財産ですね。● 当社の状況と似ており、営業戦略、社員教育に於いて為になった。

##### ⑤ Wellud(ウエルド)によるオンデマンドサインージビジネス (株)ウエルオン (愛知)

**賛助会員** ● 複写・ドキュメントサービス業とディスプレイ・看板業、その垣根が無くなってきているのかもしれないと実感できた。● 映像を使い非常にわかりやすい説明だった。● 非常にユニークで参考になった。マーケットに則したアイデアだと思う。● クラウド対応は面白い。● 洗練されて使いやすそうに感じた。情報を受け取る側が操作できるサインージがあれば面白いと思った。● 複写業→サインディスプレイ業へ業態を変革し、ノウハウを溜めている自信を感じさせるプレゼンテーションだった。● 3G回線から4G dateあればもっと良かったと思う。● 組合員 ● 複写業のサービスを越えた業務に取り組みされており、企業の成長の努力に感銘した。● 期間設定レンタルサービスがあると便利と思う。● アナログとデジタルの双方向利用、販促としてサインージの有用性、リコーさんの印刷物と画像表示のリンクが面白かった。● 更新がすぐにくるところがとても良い。● 大変参考になった。● パートナース・同業社様 ● 他業界へのチャレンジと行動力に脱帽！● もっと具体的な話を聞きたい。(懇親会で聞く予定)

皆様からのたくさんのご意見を今後の事務局運営、次世代教育等に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

(実行委員会 分科会担当 鶴井)

## 日本ドキュメントサービス協同組合連合会有馬全国大会の御礼

秋の歩みは思いのほか早く、駆け足で冬へと向かっているようです。身が引き締まる季節の到来も間近です。皆様におかれましては御健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、10月28日に日本ドキュメントサービス協同組合連合会（DS 連）有馬全国大会を開催させていただきました。お忙しいなかにも関わりませず、多くの組合員様、パートナー会員様、ご同業者様、賛助会員様の御出席を賜りましたこと、本書をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本大会は近畿複写産業協同組合がホスト役として全国の皆様をお迎えさせていただきました。日笠大会実行委員長をリーダーにして、河村理事長の企画、若い理事の方々の一致団結したサポート、さらには第三世代の後継者の皆様の初々しくも濃やかなるおもてなし、事務局の陰からの献身等々のお力添えをいただきました。本稿においては書ききれないほどの知と時を費やしてくださいました。DS 連森下会長と共に衷心より御礼を申し上げます。

そして何より嬉しいこととして、大会運営を通じ近畿複写産業協同組合を次世代につなぐことができました。それは当組合のさらなる活性化の端緒となるはずです。このような様々な感慨のなか有馬全国大会は成功裡に幕を閉じました。

少し振り返ってみます。全国大会は有馬温泉で開催いたしました。当地は業界で新しいことが起こる時、仲間達が参集する地でありました。今回もまた公の場にて、日本複写産業協同組合連合会から日本ドキュメントサービス協同組合連合会へと名称の変更を宣言させていただきました。青写真業、複写業、そして第三世代のドキュメントサービス業へと変革と進化の第一歩を踏み出す記憶すべき大会でした。

有馬大会は「複写業」という事業領域に決別の覚悟を示す有意なる大会です。しかし、新ドメインは過去の業界の在り様を否定するものではありません。複写業という「業」を一旦は棄てたとしても、その本質である「複写の魂」は継承されなければなりません。「複写の魂」のなかには、高度情報化社会を生き抜く知恵があります。私たちが「一枚のコピー」を源流として営々と繋ぎ進化させてきた業界遺伝子、すなわち「オンデマンド」「ワンツーワン」「バリエابل」などの機能は、個人を特定する ICT が進化するいまこそ求められているものです。激しく進化する情報化社会のなかで、複写業の遺伝子である「複写の魂」は必要不可欠であり、新生ドキュメントサービス業界に営々と生き続けます。

私たちを育ててくれた「複写」という言霊は、私たちの故郷（ふるさと）として、業界の魂として、大事に心の奥底にしまいつつも、さらに磨きをかけていくべきものです。「私たちはいまに適応し、あずに生きる」ために、「新たな地平への挑戦」を決行します。複写業の「業」は棄てたとしても、複写の遺伝子「複写の魂」がある限り、地平の先にある新世界を発見できると信じています。

新世界こそが「ドキュメントサービス業」という新事業領域です。

次代の協同組合は「共創の場」としての価値が問われます。近畿複写産業協同組合は有馬大会を契機として益々その価値を高められることを期待しています。有馬大会の素晴らしい運営、心から御礼を申し上げます。

日本ドキュメントサービス協同組合連合会

副会長 楠本雅一



## 読者参加フォトページ＝

皆様のご投稿をお待ちしています。

いらっしゃいませ！



AR IMA Summit 2016

関 雅夫





明るい分科会

明るい分科会 1



明るい分科会 2



明るい分科会 3

明るい分科会 4



明るい分科会 5









## 有馬全国大会大懇親会

分科会にて将来の展望を見渡して頂いた後は大懇親会にて大いにくつろいで頂きました。

1. 開宴のことば 有馬全国大会 実行委員長 日笠宏昭
2. 会長挨拶 日本ドキュメントサービス協同組合連合会会長 森下修至
3. 歓迎の言葉 近畿複写産業協同組合理事長 河村武敏
4. 祝辞 公益社団法人日本文書情報マネジメント協会理事長 高橋通彦様

歴史ある会にお招き頂き有難うございました。名称変更されたドキュメントとは情報を意味し、我が文書情報の文書はISOではドキュメントと意味するそうで、我々業界と非常に近い位置にあるのではないのでしょうか。今後とも連携を深くして頂けたらと思います。文書とは社会的動向で大きく変わっています。如何に変化をチャンスと捉えていくか、お互いの業界が勉強しながらぜひ頑張っていきたいと思っています。

リコージャパン株式会社常務執行役員事業本部長 坂主智弘様



事業ドメインの変更のお話がありました。1期青焼きの時代、2期PPCの時代。日ごろは競合している賛助会員ですが、肩組んで仲間としてパートナーとしてビジネスを広げたいという思いでやってきたことを確認させて頂いたように思います。気になる言葉が、「複写業との決別！」（次のドアを開く為。）第3期ドキュメントサービスを生業としていただけるようなサービスを切磋琢磨しながらご提供させて頂きたい。変化に強い皆様に少しでもお手伝いできるようにと感じております。ここに、第3フレーズでも皆様にお役立ちし続けるとお約束させて頂きます。

富士ゼロックス西日本株式会社代表取締役 古川利正様

本日ドキュメントサービスの起源を再確認し、気を引き締めなおさなければいけないと感じています。分科会での発表では、皆さん新しい市場をおこしているんだ、もっと賛助会員頑張らないといけないなと改めて感じました。市場は先細りしていますが、本日集まった160名の仲間でもって新たな市場創造することによって日本の経済の起爆剤として、皆様と一緒に変えられるのではないかと新たな決意を思いました。協同組合というチームで新たな市場を作ろうじゃないかという心意気を賛助会員の立場から一緒に皆様と仕事が出来る喜びを感じています。



5. 乾杯 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 植月裕道様

新しい事業領域、事業ドメインへ向かう決意を感じさせて頂きました。新しいお客さまの価値の創造に対して皆様にも新しい価値を提供させて頂けるように、賛助会員も努力させて頂こうとお約束させて頂きます。



日本ドキュメントサービス協同組合連合会様の益々の発展と今日お集まりの皆様方のご健勝を祈念致しまして、「乾杯！」



6. 歓談



## 7. 有馬の夜を飾るエンターティメント「なにわのブルース」Quncho&畑ひろし



## 8. 歓談

## 9. 閉演のことば 近畿複写産業協同組合副理事長 福味正俊



本日は、分科会発表の5社の方々有難うございました。  
近畿複写産業協同組合は理事長始め若手が頑張っております。  
賛助会員様にも大変お世話になっております。  
東京から1社来て頂きました。有難うございました。今回は最近の大会の中では、盛大な大会になっていると思います。  
お風呂にもゆっくり入って頂き、明日ゴルフに備えてください。  
そうぞ、関西の味を十分味わって、楽しんでお帰りください。  
お越しいただき、有難うございました。

## DS連 近畿複写産業協同組合記念ゴルフコンペ開催

10月29日土曜日は記念大会として有馬ロイヤルゴルフクラブにてコンペを行いました。

こちらへは総勢40名の方がご参加いただきました。

例年近畿複写産業協同組合では12月の第一土曜日に組合員、賛助会員による懇親ゴルフコンペを開催しています。この大会は例年のコンペと兼ねて行いました。

29日は朝から霧雨が降ったりやんだり、そして風も時たま強くふくあいにくの天気でのスタートでした。

しかし、業界を照らしているのか、徐々に雲が切れ晴れ間が時たま覗くようになり、終わってみればプレーするにはもってこいの気候でした。









毎年ご参加頂いている方には馴染みのあるコースですが、今回初の近畿、初のゴルフ場の方もおられたようで、大変難しいとのお声がちらほら。

さてさて、その中のコンペの結果は如何に???

**第一位 近畿複写産業協同組合副理事長 満田創様**



第一位を獲得した満田様は、隠しホールといかに上手に付き合うか？

ハンディ次第ではどなたでも優勝の可能性がございます、私のように、、、とのことでした。

ちなみにコンペのルールはWペリア方式です。

18 ホールストロークプレイ



**第二位**  
株式会社田村コピー  
山本一幸様



**第三位**  
株式会社ナイガイ  
岸本澄男様



| RANK | 氏名   | RANK | 氏名    |
|------|------|------|-------|
| 1    | 満田創  | 21   | 福味洋一郎 |
| 2    | 山本一幸 | 22   | 福味正俊  |
| 3    | 岸本澄男 | 23   | 池田順三  |
| 4    | 植月裕道 | 24   | 桑田靱比古 |
| 5    | 鶴井宏尚 | 25   | 川野陽一  |
| 6    | 巽充雄  | 26   | 鈴木重雄  |
| 7    | 森下修至 | 27   | 古川利正  |
| 8    | 木下篤  | 28   | 山脇雅則  |
| 9    | 高橋通彦 | 29   | 数藤雅彦  |
| 10   | 和田英剛 | 30   | 武田圭三  |
| 11   | 大隅和也 | 31   | 楠本雅一  |
| 12   | 藤喜志福 | 32   | 石川彰一  |
| 13   | 平口恵三 | 33   | 上田良信  |
| 14   | 内山喜隆 | 34   | 太田謙治  |
| 15   | 榎本昌博 | 35   | 石川益子  |
| 16   | 望月俊之 | 36   | 柳田佳美  |
| 17   | 下岡寛  | 37   | 藤田知子  |
| 18   | 石原健  | 38   | 石川敬一  |
| 19   | 中村浩  | 39   | 日笠宏昭  |
| 20   | 河村武敏 | 40   | 猪股昭教  |

大会参加者集合写真

さて来年度はどなたの頭上に栄冠が輝くことでしょうか。

平成 29 年 12 月 2 日（土）  
ご予約の程宜しくお願い致します。



## 「有馬全国大会開催 ご報告と御礼」

去る 2016 年 10 月 28 日（金）、新生 DS 連第 27 回有馬全国大会におきまして、全国から 160 名もの参加者を迎え、盛大に開催することができました。ここに改めて深く御礼申し上げます。

本企画は、1 年以上前から当組合の若手理事を中心に進めてまいりました。時代背景も、ジアゾ感光紙の供給の終結、複写連の名称変更、全国の複写関連組合員の再編・減少等、様々な出来事が激変するその真ただ中での全国大会の開催です。その中で、組合員や賛助会員そしてパートナー会員やご同業が一同に会し、次の時代へのサービスビジネスの可能性を体感し確信できる大会にしたいという想いで、開催当日まで準備を進めてまいりました。

主要賛助会員の皆様におかれましては、大会開催準備段階から当日の設営、そして大会終了後の制作物に至るまで、大変手厚いご支援をいただきました。加えて、分科会参加各社様におかれましては、コンテンツの作成から関連資料やプレゼンテーションに至るまで、手作りの素晴らしい分科会を運営いただきました。そして歴史的な大記念撮影では、全員で未来への決意あふれる写真を残すことができました。夜の懇親会では、皆様が改めて活発な交流の場として会話がはずみ、温泉にお酒に議論が尽きることなく夜が更けていったことと思います。

参加者の皆様に活発にご支援いただき、お礼の言葉では語りつくせません、心より感謝するのみです。

われわれ運営側は設営に取り紛れ、すべての参加者の方々と親しくお話ができず、大変失礼いたしました。

ただこのような共通の場を通じ、皆様同志の新しい「きずな」は、先輩諸氏から次世代のメンバーまで、また所属員から賛助会員にまで深く紡がれていくものと確信しています。

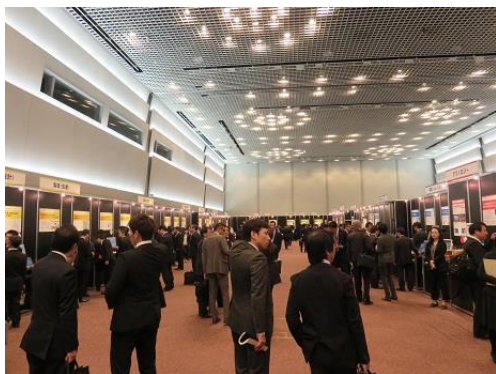


この有馬サミットを通じ、新しいサービスやパートナーシップにより、当業界ならびに会員各社が、ますます発展していくことを心より祈念し、お礼のメッセージに代えさせていただきます。感謝！

2016 年 11 月吉日

近畿複写産業協同組合  
理事長 河村 武敏  
大会実行委員長 日笠 宏昭





平成 28 年 11 月 1 日-2 日グランキューブ大阪にて Value Presentation 2016 が開催されました。

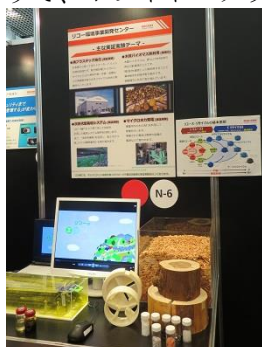
今回の展示は、業界ソリューション別にコーナーが設けられていました。必要とするものを探しやすいですね。又異業種がどのようなソリューションを必要としているのかという観点から、新しい接点を見つけるのもた易く、良い方法だと思いました。

リコージャパン株式会社といえば、ジアゾ事業からどのように変化を遂げたのか気になるところです。実際ジアゾ機のスペースにはどのような

機械が納まったかというところと PPC 大判出力機が主だそうです。

本来なら、POD機の C7110S、C7110、C7100S クラスの導入をリコージャパンでは望みたいところだそうです。なかなか今まで取引が無かった内容の事案を提案するのは難しく、POD事業のハードルが高そうです。

このたび5色目の色として「ネオンイエロートナー」を開発されたそうで、ホワイト・クリアに次ぐ新色により、新しい展開が生まれそ



うです。

その中、まだ開発中だそうです。内閣総理大臣賞を受賞した、リコー環境事業開発センターからの展示が有りました。

これはリユース・リサイクル技術の開発と実践による回収OA機器の徹底活用というテーマで、独自システム「コメット・サークル」として、資源の全方位的な有効活用を実現、製品単位、部品単位、素材単位でのリサイクルを多段階でリユース・リサイクルを行うものだそうです。今後も、経済合理性を持たせた最適化により、営業利益を生み出す事

業活動として、グローバルに展開するそうです。

また、今般町中に取り付けられている、監視カメラについて、協力展示がありました。ただ単に録画する監視カメラではなく、3D/2D画像解析機能搭載で、セキュリティ、プロモーション分析等、色々なシーンで活用できそうです。

3D高さ測定では、身長を測定したり、人数をカウントしたり、マイクによって声掛けでき、行動の抑制にも繋がります。

2つのカメラで画像認識しているので3D画像解析では95%以上実現し、誤報がほとんど無いということです。



また、「月刊総務」編集長 ウィズワークス株式会社取締役 豊田健一氏によるセミナー「守りから攻めへ！戦略総務実現のための思考方法」では定員100名をゆうにこす140・50名を集客していました。

総務が変れば会社が変わる。総務は縁の下の力持ち。縁は会社の重要な部分。且つ、総務は何でも屋で良い。しかし仕事を言われてからやるか、言われる前に意識してやるかの違いがある。言われる前にやる。仕事へのアプローチの違い。本来やるべきことを自ら企画し仕掛ける。変化の激しい時代を乗り切る為変化を捉えてやっていく。攻める意思を持って今までやってきたことに磨きを掛けることが大切です。

そして、社内のキーマンのインフルエンサーと関係を深め、社内広報により変化の手本をストーリー性のあるコンテンツでもって見せ、やらなければならない行動へともっていく。総務が自ら企画し、仕掛ければ戦略総務を実現し、厳しい競争を勝ち抜けますと説いてくださいました。

**MAGIC ! WAVE 開催 富士ゼロックス株式会社**

平成 28 年 11 月 9 日 (水)「ワークスタイルイノベーション」をテーマに「効率よく仕事をする」「創造性を発揮する」「組織と人材」にわけてブース展開され、大勢の方が参加されていました。



特に、新商品A p e o s P o r t -  
V I C 7771シリーズの周りには沢山  
の方が見学され、スキャンデータをダ  
イレクトに保存する場合ゼロックス  
以外のシステム、ドロップB O X等ク  
ラウドサービスに対応できるように

なったり、SuperEAECONターを搭載し、RealGreenの実現が可能となったことや長尺用紙がフィニッシャー搭載でも対応になり、より仕事の幅が大きくなりそのようでした。



～新たな価値の創造～ブースに展示されていたVersant 3100 Pressは絶賛発売中の機種ですが、多種多様なフィニッシャーがあり、POD事業により即した機種になっているようです。中でも2層MOEフィルムを利用し、印刷不可能な素材に転写することができることは、見学者の関心を得ていました。

サービスの面では、富士ゼロックス機種を購入しゼロックスアカウントを持っている方にはダイレクトメールに記載されているHPへログインすると、無料で利用可能なテンプレートが使えるなど多種多様なサービスが掲載されているそうです。一度覗いて見られては如何でしょうか。

キヤノン カレッジ in 大阪開催

2016年 11月 22日 (火) 16:00～

会場：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 大阪支店 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 18 階

16:30-17:30 第一部『キヤノン DreamLabo による 超高画質オンデマンド出力の世界』

講師：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 リテイルフォト企画部

17:30-18:30 第二部『上流ビジネス創出へ！ オンリーワン成果物によるビジネス改革！』

講師：東日情報処理センター株式会社 代表取締役 早川育哉 様

19:00-20:00 第三部 懇親会場所『ネスパ』

【住所】 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前  
第3ビル地下2階会費 3,000 円

第何部からでも御参加頂けます。ご都合に合わせて御参加申込ください。

[illegible]

【お問い合わせ先】 近畿建設産業協会 組合事務局 小野 TEL 06-6201-4768





今回のテーマは“秋の味覚”です。

## さつまいもプリン



材料(6 個)

1. さつまいも 150g(中1本) 2. グラニュー糖 40～50g(さつまいもの甘さにより加減) 3. 全卵 MS 寸 2 個(100g) 4. 牛乳 150cc 5. 生クリーム 100cc(あっさり好みなら 4・5 の量を入れ替えても可) 6. バニラエッセンス 耳かき 1 杯 7. カaramelソース用グラニュー糖 40g 8. 水 30cc 9. お湯 30cc



下準備: さつまいもを輪切りにし電子レンジで根菜類下ごしらえメニューで過熱。

作り方 (制作時間約 60 分 冷やす時間除く)

1. カaramelソースを作る。フライパンにグラニュー糖と水を入れて溶かしながら加熱する。色が変わってきたら、お湯をそっと入れる。水分がはねるのでやけどに注意して下さい。



2. カaramelソースを耐熱容器に入れる。(プラスチックでも金製の容器でも可)

3. 加熱してあるさつまいもの皮を剥き、正味のさつまいもの分量を量り、麺棒やブレンダーなどで潰す。

4. 牛乳、生クリーム、砂糖半分を入れ煮溶かす。低い温度でよい。



5. 潰したさつまいもへ 4 を少しずつ加えて混ぜる。



6. 割りほぐした卵に残りのグラニュー糖 バニラエッセンスを加え 5 へ加える。

7. 少し目の荒い笊で漉し、カaramelを分け入れた容器へ分け入れる。



8. オーブンの温度を 160 度に余熱し、湯煎焼きで 35 分焼く。オーブンにより加熱時間は調整して下さい。表面が狐色になったり、膨らんだりしたら、焼きあがっています。

9. 冷やして、完成です。そのまま食していただいても結構ですし、皿にひっくり返して出し、分量外の生クリームを添えれば豪華デザート completion です。



## 賛助会員様へのご案内

いつもこの「複写ニュース」をお読み下さり、真にありがとうございます。

「複写ニュース」も昨年は、読者参加ページや「ほっと一息」と題しての小野さんのスイーツレシピ等、読者の皆様方との距離を縮めるべく刷新して参りました。しかし乍らよくよく思うにまだ何か足らぬことがある。そう そうなのです、それは「賛助会員様のページ」なのです。

賛助会員様よりの製品の情報、業務の案内、告知情報、我社の自慢、私共へのお役立ち情報・・・etc

勿論 広告宣伝のような記事でも結構ですし、又 個人での投稿も大いに歓迎致します。

この「複写ニュース」も組合員各位、賛助会員各位、組合この三者が揃っての記事が掲載されてこそ、皆様の情報誌として価値が高まると信じています。

何卒、賛助会員さまよりのご投稿を心よりお待ちしております。

(お問合せは事務局まで)

お願い：

本紙は組合員様に組合活動出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。お手すきのお時間にご回覧頂き、是非ともお読みください。

発行：近畿複写産業協同組合  
〒541-0043  
大阪市中央区高麗橋 1 丁目 5-6  
TEL06-6201-4766  
FAX06-6201-4768  
発行責任：河村武敏  
監修責任：桑田鞠比古  
編集制作：小野恵美子  
問い合わせ：[info@kinkifukusha.sakura.ne.jp](mailto:info@kinkifukusha.sakura.ne.jp)

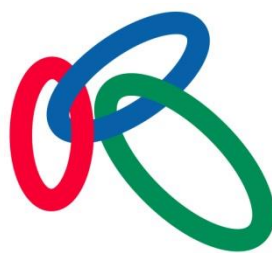
### 編集後記

第27回有馬全国大会は、盛況裡に終えることができました。これも偏に河村理事長・日笠実行委員長を筆頭に、理事各位並びに事務局の企画力及び行動力の賜物と思います。遡ること、第25回東京大会、第26回東海大会の後、関東複写センター協同組合そして東海複写産業協同組合が相次ぎ解散し、お声掛けすべく組織が減り状況不利にも拘らず、総勢150余名の参加をみることができました。改めまして近畿複写産業協同組合役員各位そして事務局に敬意を表します。ご当地の過去の大会と比べても、第22回宝塚大会時の組織数403社で参加数は約300余名、今回の有馬大会は162社で約150余名ですので立派な成績ではないでしょうか。

近畿複写産業協同組合は健在です！（記・桑田）

有馬全国大会も無事終わり、事務局はほっと一息ついています。沢山の方々にお目にかかれたけれど、楽しんで頂けたのかな？今年も早いもので平成28年に発行の複写ニュースは今月号が最後です。来年こそは、沢山おられる組合員様を訪問して取材記事を掲載したり、組合員様、賛助会員様からの投稿を掲載したり、近畿複写産業協同組合全員参加の機関誌になればいいと思います。来年も宜しくお願い致します。（記小野）





近畿複写産業協同組合